

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 19 日 (2006.1.19)

【公開番号】特開 2005-220127 (P2005-220127A)  
 【公開日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-032  
 【出願番号】特願 2004-382707 (P2004-382707)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/06

A 6 1 K 7/11

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 30 日 (2005.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組成物の全質量に対して 50 質量%を越える水を含む化粧品として受容可能な媒体中に、少なくとも一つの弾性のあるカチオン性ポリウレタンを含む、スタイリング化粧組成物。

【請求項 2】

弾性のあるカチオン性ポリウレタンが本質的に以下からなることを特徴とする、請求項 1に記載の組成物：

(a 1) 活性水素を含む少なくとも二つの反応性官能基を含む少なくとも一つの第 3 又は 4 級アミンから誘導するカチオン性単位、

(a 2) 活性水素を含む反応性官能基を末端に有し、示差熱分析で測定して 10 より低いガラス転移温度 (T<sub>g</sub>) を有するノニオン性ポリマーから誘導するノニオン性単位、

(a 3) 任意の、活性水素を含む少なくとも二つの官能基を含むノニオン性モノマー化合物から誘導するノニオン性単位、及び

(b) 少なくとも一つのジイソシアナートから誘導する単位。

【請求項 3】

弾性のあるカチオン性ポリウレタンが少なくとも二つのガラス転移温度 (T<sub>g</sub>) を有し、これらの T<sub>g</sub> の少なくとも一つが 10 より低く、少なくとも他方の一つが 20 に等しいかそれより高いことを特徴とする、請求項 2に記載の組成物。

【請求項 4】

弾性のあるカチオン性ポリウレタンが 5 質量%～95 質量%、好ましくは 20 質量%～90 質量%、特に 35 質量%～85 質量%の即時回復を有することを特徴とする、請求項 2又は3に記載の組成物。

【請求項 5】

カチオン性単位 (a 1) を活性水素を含む二つの反応性官能基を含む少なくとも一つの第 3 又は 4 級アミンから誘導することを特徴とする、請求項 2ないし4のいずれか 1 項の記載の組成物。

## 【請求項 6】

ノニオン性単位 (a 2) を形成するポリマーをポリエーテル、ポリエステル、ポリシロキサン、エチレンとブチレンとのコポリマー、ポリカーボネート及びフルオロポリマーから選択することを特徴とする、請求項 2 ないし 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

## 【請求項 7】

単位 (b) を以下から選択するジイソシアナートから誘導することを特徴とする、請求項 2 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の組成物：メチレンジフェニルジイソシアナート、メチレンシクロヘキサジイソシアナート、イソホロンジイソシアナート、トルエンジイソシアナート、ナフタレンジイソシアナート、ブタンジイソシアナート及びヘキシルジイソシアナート。

## 【請求項 8】

存在してもよいノニオン性モノマー単位 (a 3) を形成するノニオン性化合物をネオペンチルグリコール、ヘキサエチレングリコール及びアミノエタノールから選択することを特徴とする、請求項 2 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

## 【請求項 9】

ポリマーの全質量に対して、単位 (a 1) は 1 質量 % ~ 90 質量 %、好ましくは 5 質量 % ~ 60 質量 % 存在し、単位 (a 2) は 10 質量 % ~ 80 質量 %、好ましくは 40 質量 % ~ 70 質量 % 存在し、かつ単位 (a 3) は 0 ~ 50 質量 %、好ましくは 0 ~ 30 質量 % 存在し、単位 (b) は、単位 (a 1)、(a 2) 及び (a 3) の合計に対して本質的に化学量論量で存在することを特徴とする、請求項 2 ないし 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

## 【請求項 10】

組成物が追加の固定ポリマーを含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

## 【請求項 11】

組成物が増粘ポリマーを含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

## 【請求項 12】

組成物が界面活性剤を含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の組成物。

## 【請求項 13】

組成物が少なくとも一つの真珠光沢剤又は不透明化剤を含むことを特徴とする、請求項 1 ないし 12 のいずれか 1 項に記載の組成物。

## 【請求項 14】

組成物の全質量に対して 50 質量 % を越える水を含む組成物における、少なくとも一つの弾性のあるカチオン性ポリウレタンの、毛髪を形成し又は保持するための使用。